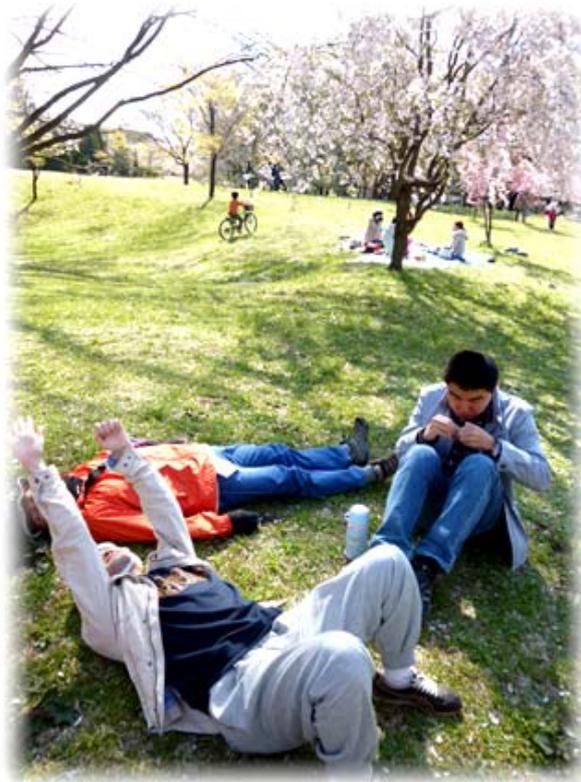


SSKP
はばただより
vol.124



はばたけの周りは
お花見スポットいっぱい!

4月があっという間に過ぎていきましたが、今年の東京の桜は花持ちがよく、はばたけでは4つのグループそれぞれで、三鷹やその周辺のお花見スポットを満喫!

国際基督教大学(ICU)や、都立野川公園、神代植物公園や味の素スタジアム通りや都立小金井公園など、どこも見ごたえがあり、行くところに迷うくらいでした。

寝転んで桜を見上げたり、花びらをかけあって遊んだり、1年に1度のさくらウィーク、みんなの顔も華やぎました。



小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



野ざきの家が開設し3度目の春がやってきました。春と言えば桜です！今年も無事お花見を開催することが出来ました。場所はルーテル学院大学で行いました。(ルーテル学院大学の関係者の皆さまのご理解に感謝申し上げます。ご厚意・ご協力ありがとうございました。)

お花見は天候に左右されるので当日の天気予報を毎日のようにチェックしていました。曇りマークだったり雨マークになったり、降水確率が何パーセントやら……。ヤキモキしながら当日を迎えました。朝は小雨で……。出来るか出来ないかみんな悩んでいました。

するとどうでしょう……。なんと雲の切れ間から太陽が顔を出して来ているではありませんか！利用者さん・職員の想いがおてんと様に伝わったのだと思いました。気温もグングン上がり春らしい陽気となりました。



現地では満開の桜の下、利用者さん16名、職員7名の総勢23名の大宴会です。皆で食事をし、ノンアルコール飲料で乾杯したり、利用者さん・職員みなでお酌をしあったり。和気あいあいとまるで家族のような雰囲気でした。少し風が出てきて桜の花びらが舞っている雰囲気も大変良かったです。花びらが飲み物の中に入ってはしゃいだり……。何気ないことでもいつもと違う環境・雰囲気が手伝い、普段とは違った表情をされている利用者さんたちをみて「この仕事の楽しみはこういう笑顔を引き出すことなんだ」と改めて実感し再確認できました。雰囲気も手伝い、春空の下陽気に歌いだす方もいらっしやあという間に時間が過ぎてしまいました。総勢23名の楽しいお花見は無事終わることが出来ました。また来年も桜は咲きます。とある利用者さんから「また来年ね。よろしくね！」と言われました。この時点で「来年もお花見をする。」という大きな目標ができました。一日一日を大切に、みなさんと共に歩いていけたらと思いました。

これからも利用者さん、ご家族様により添い良い支援を提供できるよう職員一致団結してまいります。住み慣れた地域で安心して生活できるように関係機関の方々とも連携していき「野ざきの家に出会えてよかった。」と思われるように支援していきたいと思っております。今年度もよろしくお願ひいたします。

(支援員 齋藤貴彦)



サポートネットあすは &あすはKids

移動支援・居宅介護事業
放課後等デイサービス

手紙と卒業式

「あすは Kids」は土曜日も開所しているため、職員はシフト勤務になっています。平日、交代で休みをとるのですが、出勤していない職員のことを、いつも気にしてくれる中学生の女の子がいます。「今日は〇〇さん、〇〇さんはいるね…。〇〇さんは？休み？」等と職員に聞いてきます。休みだということが分かると「残念！来週は来るかな？」と言って、休んでいる職員に毎回、手紙を書いてくれます。

手紙には「今日は多摩六都科学館に行ったよ。中学校でテストがあったよ。〇〇さん、体調はいいですか？風邪をひいてはいませんか？私は元気にしています」といったことが書かれています。休んでいる職員のことを心配してくれているのですね。

普段、ほとんど電子メールでのやりとりしかしていないので、ペンで書かれた手紙は新鮮で、その良さを再認識させてくれます。手紙を読むたびにうれしく、ほんわかした気持ちにさせてくれます。こんなに思ってくれているのだから「がんばろう！」という気持ちにもなります。また振り返って自分はいったいどうなのだろう？人を元気にさせるようなことができているだろうかと考えてしまいます。日々、自分たちの支援を振り返り、さらに良いものを目指していかななくてはと思います。

小学生、中学生、高校生時代は、子供たちが大きく成長していく大切な時間です。「あすは Kids」で過ごす時間を、子供たちにとって楽しく有意義なものにしていかなくてはと考えています。子供たちには、楽しい思い出をたくさんつくってほしいなあと思います。

今年度も「さくら会」と称して「あすは Kids」の卒業式を行いました。卒業生たちの成長した姿を見て思い出が頭をよぎり、しみじみとした気持ちになりました。みんなで焼きそばやお好み焼きをつくって食べたこと、夏休みにスイカ割りをしたこと、クリスマス会で盛り上がったこと、本人の意思や思いをくみ取れず歯がゆい思いをしたこと、また伝えようとしていることが分かった時のうれしさ…たくさんの思い出があります。活動をする中で、子供たちと職員が学びあい、共に成長してきたのだと思います。

卒業生の皆さんは、社会人としての生活をスタートさせます。楽しいこと、うれしいこと、つらいこと…様々なことがあるでしょう。壁にぶつかることもあるかもしれません。様々な経験を積みながら、あすは Kidsのことを、時々思い出してくれたらなあと思います。

(管理者 立野信行)





～ 工房時 ニュース ～

企業実習開始!



分類ラベルごとに書棚へ…

ルーテル学院大学 ～図書館実習～

「はたらく」場所、工房時。もう一つの活動は「就労移行支援」の取り組みです。工房時での活動を通して、皆さんが高めた力を施設の外でどう生かすか…大きなテーマの一つです。まずは身近な地域で実習受入をしてくれる団体がないか?と考えていたところ、西原理事長の力添えもあって、ルーテル学院大学図書館で蔵書整理業務の実習を企画していただき、12月に1名の方が実習に臨みました。1週間にわたる実習を無事にこなし先方からも高い評価が得られました。また、ご本人から工房時の皆さんに向けて実習の報告発表をしてもらいました。この後、「私も実習に行ってみたい!」という言葉が、事業所内でどんどん増えていきました。ご本人の経験と自信、また他の利用者の方への良い影響・刺激。工房時の就労移行支援事業の核となる部分が形になりつつあります。



「少し大変だったけど、とても楽しかったです」

東京しごと財団委託訓練 ～企業での実習～

ハローワークと連携して様々な活動をしている「東京しごと財団」。工房時では、この財団の障害者委託訓練事業を活用して、企業実習を進めています。現在の内容は、某居酒屋チェーン店の開店準備(テーブルセッティングやお通しづくり)です。おもむく食堂の仕事と似た部分も多いこの実習、既に3名の方がトライしました。実習期間は20日間、場所は新宿!なじみのない電車通勤で大変ですが、みなさん1日も休まず終了することができました。実習後に先方から採用の方向で考えたいというお話をいただくこともあり、ご本人たちだけでなく工房時としても手ごたえを感じています。

また、すぐに就職したいという思いがない方にとっても、「こんな仕事があるのを知った」「こういう会社に興味が出てきた」とご自身の世界を広げていくことができるように、社会参加の機会と経験を増やしていく活動に取り組むことも、就労移行支援の要素であると考えています。実習に参加された皆さん、お疲れ様でした。また、関わっていただいた関係機関の皆様、ありがとうございました。

目指せ、ボーナス 5 万円!?
- 工賃アップに向けて -

○補助金で購入した設備…液体充填機とシーラー



「この機械で、ガンガン稼ぎます!」

職場の行事・希望・疑問・悩み等々、みんなで話し合いませんか?ということで、毎月「職場会議」を開催しています。職員主導ではなく、皆さんが主体となって行うこの会議。先日の話題の中心は、ボーナスについてでした。「夏・冬それぞれ5万円ずつ!」を目標に…どうしたらこれを実現できるか?時間をかけて話し合いしていくことに。さてさて、どんな意見が出てくるのでしょうか?楽しみです。

事業所としても工賃向上は大きな目標です。3月には、東京都の補助を受けて製麺部に新たな機械を導入しました。生うどん麺に加え、おもむく食堂オリジナルつゆをセットにした製品を販売するための設備です。現在は5月の販売開始に向けて、作業をしやすくする工夫をしているところです。工賃向上の方法はいくつもありますが、「おいしいでつながる」をテーマにしている私たちにとって、どれだけおいしいものを作れるかが重要です。皆さんの力で、ぜひ目標を達成しましょう!

(事務責任者:中野)

アクティビティセンター はばたけ

心も体も健康に!

はばたけでは、普段の活動とは別に、全体やニーズ別の取り組みをいくつか行っています。今回はその中の2つの“健康”に関する取り組みを紹介します!

日頃の水分補給に…と自動販売機やコンビニで飲み物を買うこと、ありますよね。はばたけのみなさんは、飲み物も、お買い物も好きな方が多く、活動の中では“自分で選んで買う”経験をつめるようにしています。でも、飲み物の中には、実はたくさんの糖分が含まれているものがあり、上手に選ばないと、気づいたときにはお腹がぼっこり…なんてことになってしまいます。そこで、はばたけでは「健康ミニ講座」を行い、管理栄養士の先生に講師となっていただき、わかりやすいお砂糖の話をしていただいています。



たとえば…いつも飲んでいるジュースにはお砂糖がスティック7本分入っているという話を聞き、実際にスティック7本分の砂糖水をつくって飲んでみます。

「わっ、あま〜い!」「こんなにお砂糖入っているなら、毎日飲まないほうがいいかな」など、体感してみると実感も湧いてきて、いろいろな感想が出てきます。

それでも誘惑に勝てないときはありますが、繰り返し感じていくことで、自己選択をしてくときの選択肢が増えていくことが大切だと思っています。

Dance Dance Dance ♪

健康の取り組みとしてもうひとつ。今年度から毎月1回、講師の方をお招きしてのダンス講座が始まりました。昨年度も試験的にやっていたのですが、自然に動いて笑顔になれるダンスは、心と体の健康に一番!と、今年度あらためて全体活動として取り入れることになりました。

4月はAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」。

いつもパワフルな先生に引きこまれ、振りつけも自然に

自体に入り、最後には一体感のあるダンスが完成!みんなが楽しみな活動のひとつになりそうです。



利用者も職員もいっしょに学び楽しむことができるのは講師の方々の存在が大きく、職員だけでは広がらない世界に風を吹き込んでくれています。これからも様々な専門の力を借りて、利用者の方のみなさんの生活の幅を広げられたらと思っています。

ショートステイさくら

住みたい街 NO.1 の吉祥寺…駅から歩いて 10 分の場所にある「ショートステイさくら」。スタッフからも「私が住みたい」という声が挙がるほどの好立地です。

2DK のアパートの 1 室 (2 床) で規模としてはとても小さいのですが、その“こじんまり感”もさくらのアピールポイント！

みなさんに家庭的な居心地の良さを感じてもらえるよう、落ち着いた雰囲気大切にしています。

ショートステイさくらは、緊急時はもちろんですが、自立の一步として、ご家族から親と離れた生活の練習として“宿泊体験”を積み重ねたいというご要望も多く、定期利用されている方が多いのが特徴です。今回はご利用の様子を少しご紹介したいと思います。



昨年度から利用されるようになった A さん。自閉症の A さんは、環境の変化に過敏で、これまでのご家族か特定の方との関わりが中心でした。ご家族もこれからの A さんの人生を考え、少しずついろいろな人と関わられるようになってもらいたいという思いがあり、通所施設でもその思いを受け A さんの関係性を広げてきていました。ショートステイの話も少しずつしていましたが、初めはご家族も「関心はあるけれど、うちの子には難しい」と躊躇され、ご本人も「行かない。いやだ」とおっしゃっていました。しかし現地に行って見学をしたりスタッフとあいさつする機会を持つ中で、「夜ご飯はスパゲッティにしてもらえる？」「トランプできる？」など尋ねてきたりと、前向きな表現に変わっていきました。

そして…施設でもたくさんの人と関わられるようになり、1 年ほどの土台づくりを経て機は熟しました。いよいよ泊りのチャレンジです。当日も A さんが安心できる通所職員が同行し宿泊スタッフとの間に入り、A さんの気になっていることを一緒に確認し、ひとつひとつクリアしていくことで安心してもらえるようにしました。そして…1 泊の宿泊を無事終えることができ、一番心配していたご家族もこれに一安心。A さんの自信にもつながったようでした。

もちろん、すんなり環境に馴染むことは難しいですし、A さんも今でも泊りの日は気持ちが昂ることがあります。宿泊スタッフが A さんとの関わり方で難しいときには通所職員が相談に乗り、過ごし方についてもご家族やスタッフ、通所職員でいろいろ考え、今では次の泊りのメニューを自分で決めて伝えてくるなど、A さんの生活の一部になってきていると感じます。

また、「久しぶりに夫婦で出かけられました」「いつも断念していた親戚の法事に初めて行けました」など、ショートステイを利用することで、ご家族の暮らし方に変化や余裕が見られるようになったという（当たり前のことの当たり前でできるようになった）話を伺うと、その意義をあらためて感じます。



利用者にとっても、そしてご家族にとっても暮らしが広がるような、そんなショートステイをめざし、細々とではありますが吉祥寺の街に根づいていけたらと思っています。

(管理者 入倉暁子)

おおぞら会後援会ニュース

～総会のご案内～

木々の青葉が美しい季節となりました。皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりおおぞら会後援会へご協力を賜り心より感謝申し上げます。

今年も後援会総会を下記の通り開催する運びとなりました。会員の皆様からいただきましたお支えのもと、法人の各事業所と連携した活動の報告をさせていただき、また今年度の新たな後援会事業を確認してまいります。

おおぞら会の存在とはたらきを地域に広め、また、安定した運営を支えるために、後援会は皆様と共に未来を仰ぎ、歩んでまいりたいと思います。

地域に根差した法人・事業所として活動するおおぞら会とそれを支える後援会を、今後ともよろしく願い申し上げます。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

おおぞら会後援会 総会

2014年5月24日(土)

会場:アクティビティセンターはばたけ

総会 午後3時～ 懇親会 午後4時～

お楽しみ企画を準備しています

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年度がかわりました!

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義: 社会福祉法人おおぞら会後

★後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)

14名の方からご入会・ご更新をいただきました。

★後援会へ寄附(敬称略)

2名の方から後援会へご寄付をいただきました。

★法人・各事業所・千人会へ寄附(敬称略)

個人26名、団体6団体(社)かご寄付をいただきました。

皆様 ありがとうございます。

後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

(以上、12/1～3/31 集約分)

information

福祉のお仕事 始めてみませんか？



おおぞら会では、法人内の施設で働く職員を募集しています。

● つなぐなかまの家(障がい者ケアホーム)

・世話人(障がい者の生活支援・食事提供・夜間見守り) 契約職員1名(フルタイム)

● 野ざきの家(高齢者居宅介護)

・介護支援員(高齢者の介護・日中活動支援など) 契約職員1名(フルタイム)

実務経験者・有資格者(社会福祉士・ガイドヘルパー養成研修修了者・ヘルパー2級など) 歓迎
そのほか、詳しい求人条件等のお問い合わせはハローワーク またはこちらまで…

《 お問い合わせ 》

TEL : 0422 - 30 - 5571 (法人本部 : 三浦)

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|--|---------------|----------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房 時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野ざきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つなぐなかまの家・さくらハイツ (グループホーム・ケアホーム事業) | | tel 0422-30-5571(本部) |

我が施設では、産休・育休で休んでいた職員が今月から復帰をした。「休んでいる間で変わったこともあると思うので新人と思って頑張りたい。いろいろ教えてください」と謙虚にあいさつをしてくれていたが、少ない人数の職場において戦力が戻ってきてくれることは、本当にありがたいことである。でも仕事をもつ女性には1年のブランクは大きく、さらにしばらくは時短勤務で…となるとそこからの努力も人一倍しないとイケない。少しの間休んだことで、昇給や配置、いろいろなことでハードルができる。大げさでなく、1からのスタートになってしまうようなところもあるな…と実感する。

休暇中も彼女が時々施設に赤ちゃんを連れてきてくれたのだが、この間来たときには、丸々すくすく育つ赤ちゃんに「君のお母ちゃんも私たちががんばるから、君の仕事は元気に育つことだぞ。がんばれよー」と思わず言って聞かせた。利用者の皆さんも大きなおなかの時から知っているので、もう親戚の赤ちゃんのような気持ちで、抱っこしたり頭をなでたりして成長を見守っている。施設みんなで、新しい命とお母さんを応援していきたいと思う。(いりくらあきこ)